

# 2022年10月21日 第3404回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 前田 会長

<斉 唱> 「我等の生業」 ソングリーダー 佐久間博一 会員

<ゲスト紹介> \*帝京大学 准教授 松岡 美里 様

<VTT特別委員会 久保田委員へ表彰状授与>

<会 長 報 告> \*大口寄付表彰状贈呈 長尾会員

\*メジャードナー記念品贈呈 北村会員

\*国際ロータリー日本事務局より

・ロータリーレート変更のお知らせ 10月1日より1ドル145円 (現行139円)

\*ガバナー事務所より

・ローターアクト委員会開催のご案内について

11月20日(日) 13:00~14:30 於：第一相澤ビル8F「会議室」

<委員長報告> \*VTT委員会 久保田委員よりVTT活動報告

\*社会奉仕委員会 加藤(淳)委員長よりポリオ根絶募金活動について

<幹 事 報 告> \*ガバナー月信 No. 4

<出 席 報 告> \*出席委員会 加藤(淳)委員より10月21日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
115名	105名	71名(4名)	34名	11名	78.10%

<ニコニコ報告>

・久保田、長谷川、岡田(隼) 各会員 誕生月祝いとして

・小佐野、野坂、物井 各会員 入会月祝いとして

・三 役 地区大会報告の方、よろしくお願ひいたします。

・梁井、児玉、上田、永井、福西、杉浦、大野(健)、  
久保田、植田、南、勝間、杵渕、八巻、岡田(隼)、澤田、  
田中、土田、佐久間、小佐野、前川、齋藤(眞)、波島 各会員

10月16日(日)、地区大会ご参加の皆様お疲れ様でした。前田会長はじめ報告する皆さん発表宜しくお願ひします。

・大石、石田、加藤(健)、松本(剛)、加賀本、大野(健)、比護、  
江口、野坂、田邊、田村、徳永、猿丸、小林(剛)、  
濱田、山下、中村(剛)、小山(剛)、中村(健)、笠木、前川、兼城 各会員

ポリオ根絶募金活動は10月23日(土)に開催です。参加会員の皆さん、肌寒い陽気ですが、防寒対策を万全に楽しんで参りましょう。

・長谷川、岡田(隼)、久保田、鈴木(健)、北村、二瓶、小山(剛)、鈴木(豊)、谷、  
澤田、上林、藤村、山下、中村(剛)、根岸、宮島、齋藤(眞)、波島 各会員

三浦学苑、軟式野球部、夏に続き秋季大会でも神奈川県大会優勝おめでとうございます。益々のご活躍を！

・物井 会員 本田翼主演TBSドラマ「君の花になる」みなと旅館でロケが決まりました。ちなみに入浴シーンはありません。

・梁井、石田、大石、椿、角井、上田、加賀本、岡田(隼)、  
八木、馬場、大野(健)、比護、前田、福西、長尾、植田、  
北村、勝間、南、八巻、小山(剛)、徳永、田中、濱田、佐久間、  
飯塚、宮島、小山(剛)、齋藤(眞)、杉浦、澤田、兼城 各会員 写真をいただいて

◇前田会長

初めに私から地区大会の報告を致します。二日間の地区大会の一日目は会長幹事会がありました。ガバナーそして地区の各委員長からの挨拶ののちに、前年度R I 研修リーダーを務められた大阪西南RCの四宮孝郎様よりR I 会長代理としての講演を頂きました。今年度のR I 会長のメッセージを伝えられた後に、日本のロータリー会員の減少がコロナ禍によりさらに拍車がかかり、憂慮すべきことであると話されました。会員増強においては、ロータリーの魅力を再確認し、これを伝えることが大切であろうという見解を示され、ご自身の描くロータリーの魅力について3点を強調されました。①異業種の方と会うことができる。②奉仕により、感動を得ることができる。③年齢に関係のない生涯の友ができる。この3点を挙げました。まず、ロータリー入会前は同じ業界の方とお付き合いが殆どであったものが、ロータリーに入会して同じ業界にはない知見を拓けることができるという事かと思えます。次に今年度、私もV T T派遣では再びセブ島を訪れて3年前にV T Tでご一緒したセブ島の方々とは旧交を温めました。この中で横須賀にも来られたことのあるスティーブさんと会い、他の方から彼が今回のV T T活動に300万円相当の寄付をされたと伺って、「すごいね!」と言いましたら、彼はhorseracing(競馬)で儲けたのだよと言っていました。セブ島には競馬は無かったはず。彼一流の照れ隠しをしていました。またピンクリボン運動では面識の無かった三浦横須賀地域の放射線技師の方々や、乳がん体験者の女性たちとともに活動し、クラブ会員のたくさんの方々とは活動を成し遂げて、打ち上げ会では普段味わえないビールの美味しさを感じました。私なりの感動でした。当クラブでも年齢に関係なく親しくさせて戴いておりますが、大阪のあるクラブでは100人ちょっとのクラブでゴルフや釣りにとどまらず、10個以上の同好会があって、なかには「前立腺がん友の会」などもあり大いに盛り上がっているそうです。四宮さんは同じクラブの96歳の方と囲碁友達で、毎週のように囲碁を打ちながら、いろいろなお話で盛り上がっているとおっしゃっていました。なんとも温かいお話です。私の地区大会印象記でした。

◇瀬戸幹事

地区大会は12:30点鐘から始まり厳かな雰囲気ではまりました。3662地区、韓国の姉妹クラブロータリアンの参加もありました。ホストクラブの津久井中央RC会長の挨拶では、感激のあまり挨拶を忘れるというハプニングがありロータリアンの皆さんが声援を送り盛り上がりました。クラブ紹介では第1グループの横須賀ロータリークラブから始まり多く声援が送られました。R I 会長メッセージはR I 会長代理の四宮孝郎様によるお話となりました。ジェニファー・ジョーンズ国際ロータリー会長の生い立ちや逸話が語られ、少女時代のチャリティ活動のお話をされました。会長は42歳の時に乳がんとなり、化学療法を8回、放射線療法を21回されているとのこと。「ロータリーにとってのDE Iとは」の話を紹介されました。その後、地区大会決議報告があり、決議が採択されました。また、各種セレモニーの中で、長寿会員表彰では当クラブの5人が表彰され、代表として波島顕明会員が表彰を受けられました。また、ロータリー財団表彰は、アーチ・クランフ・ソサエティでは小沢一彦会員、大口寄付では長尾和典会員、メジャードナーでは北村理和子会員が表彰を受けられました。また、米山奨学会寄付達成クラブ表彰では、前田会長が1億円達成クラブとして表彰されました。さかなクン(東京海洋大学客員教授)の講演会では、セネガルのタコ資源の復活を目指し現地で活動をしていることや、タコ壺を使ったユニークなお話をされました。また、現在は水質循環に良いとされるカキの養殖事業まで広げていること、アマゾンではアマゾンマナティー絶滅危惧種の保護をしているそうです。また、水の循環問題では「ごみ問題」に辿り着くようで、ごみ問題において今日からできることは、「食べ物を感謝していただくこと」「マイ〇〇〇を持つこと」「ごみは決められた場所に」と当たり前のことですがそれを守ることが大切とのこと。非常に楽しいお話でした。

◇角井会員

私は、10月16日(日)に「けやき会館 大樹の間」において開催されました新世代交流会に参加いたしましたのでご報告いたします。当日は、当クラブからの参加も多数あり、岡田英城地区青少年奉仕委員長、高橋隆一地区インターアクト副委員長、鈴木之クラブインターアクト委員長、エノラ・ロジャースクラブローターアクト委員長そして佐久間博一米山奨学生カウンセラーがご出席されました。新世代交流会は午前9時30分に開会し、佐藤祐一郎ガバナーと石川大実行委員長からの挨拶があった後、インターアクト、青少年交換、ロータリー平和フェロー、米山学友そしてローターアクトの各プログラム紹介MOVIEが流されました。昨年度より、地区青少年奉仕委員会にローターアクト委員会、インターアクト委員会、青少年奉仕委員会、RYLA委員会が所属していることから、新世代にあたる米山奨学生・米山学友、ロータリー平和フェロー、財団学友との交流も進んでおり、お互いの活動を理解することができてきていると感じました。新世代交流会のテーマは「未来を語ろう 君のために みんなのために 自分のために」というものですが、これは新型コロナウイルス感染拡大による活動の制約を余儀なくされた新世代に対し、具体的な未来を思い描いてほしいという熱い思いを基として岡田地区青少年奉仕委員長が定めたものです。これを踏まえたメインプログラムは、NPO法人湘南ビジョン研究所理事長の片山清宏様に「志を持った『巻き込み型リーダー』を目指せ! ~自分の強みを生かして社会貢献するには~」という内容で基調講演をして戴き、その後新世代の参加者だけでテーブルミーティングをしてもらった上で将来どのような志を持っていきたいかというメッセージをリンゴの形をしたメモ用紙に記載して、三浦学苑美術部・インターアクトクラブに制作いただいた「未来の木」に貼りつけていくという方法により行われました。基調講演をいただいた片山様は、江の島の近くに生まれ育ったことで若き日にプロサーファーを目指したものの、紆余曲折あって自治体に就職するなかで20年以上にわたり海岸清掃に取り組んだにもかかわらず、一向にゴミが減らない現状を打破するために行政・企業・市民を巻き込んだ海岸・海洋清掃活動を行うに至り、最終的にはアジア初となる「海の国際環境認証(ブルーフラッグ)」を獲得するに至る興味深過ぎる半生をお持ちの方です。ブルーフラッグとは、国際NGOであるFEE(国際環境教育基金)が実施するビーチ・マリーナ・観光ボートを対象とした国際認証制度であり、①水質②環境教育と情報③環境マネジメント④安全性・サービスの4分野において30数項目の認証基準を満たすことによって取得でき、毎年審査を通じて、ビーチやマリーナ等における持続可能な発展を目指す制度です。片山様は「大きな理想と現実とのギャップで悩む」新世代に対し、自らがそうだったように一人では社会課題は解決しないとして「巻き込み型リーダー=ファーストペンギン」となって社会貢献をすべきと語り、実際に社会貢献に取り組みたいとする新世代が増えているように感じるとの話がありました。基調講演を受けて行われたテーブルミーティングでは、「好きなこと」「得意なこと」「経験した仕事」「解決したい社会課題」をそれぞれのテーブルメンバーに考えてもらった上で、活発なディスカッションが行われ、私の志を見つけていくという生産的な作業が展開されました。ロータリアンは議論に参加するのではなく、各テーブルを回り議論の行方を見守るなど、あくまで新世代中心でディスカッションが進む様子が現在の新世代の充実ぶりを感じる部分でした。なお、今回の新世代交流会は、ローターアクト・ROTEXによる実行委員会を組織し、企画・運営をしています。新世代交流会前日には、実行委員会による事前準備やリハーサルが丹念に行われ、当日の受付・運営に至るまでローターアクト・ROTEXによって実行されました。ディスカッションの後には、新世代のグループごとに発表がなされましたが、未来のある新世代の皆さんは大変素晴らしく、それぞれボランティアへの参加、格差是正問題、貧富の格差、性差別、気候問題への取り組みがしたいという「志」が発表され、会場は大変盛り上がりました。とりわけ横須賀ローターアクトクラブのメンバー、米山奨学生の王冠博君そして10名以上の出席者を擁し、顧問の先生2名も参加した三浦学苑インターアクトクラブの活躍が目まじかったことをこの場でご報告しておきます。グループワークによって各人が見つけ出した「志」はリンゴの形をしたメモ用紙に記載され、三浦学苑制作による「未来の木」に次々に張り付けられ大樹に見事な果実が実る様子は、中止を余儀なくされた昨年度の新世代交流会から2年越しで用意していた青少年奉仕関係者にとって感動的なシーンでした。最後にRI会長代理四宮孝郎様による総評があり、閉会後に新世代76名、総勢160名による写真撮影をして終了しました。11月23日には三浦学苑インターアクトクラブをホストクラブとするインターアクト年次大会が、来年1月29日には小田原城北ローターアクトクラブをホストクラブとするローターアクト地区大会が開催されます。引き続き新世代への変わらぬご支援をお願いいたします。

#### ◇比護会員

先週の日曜日、10月16日(2日目)に地区大会の本会議、大懇親会に参加をさせて頂きました。私は入会して来月で2年が経ち2度目の参加になります。私自身が地区出向の経験が全く無く、あまり全体的な流れは分からなかったのですが、その中でも佐藤ガバナーのご挨拶、四宮RI会長代理からのRI会長メッセージは素晴らしい内容だったと思います。RI会長の思いなどは、日本語でとても分かり易い説明を聴くことができました。なぜ、ロータリーが奉仕活動を行っているのか、世界規模でのお話は自分には違う世界だと思っていましたが、普段の生活や普段の奉仕活動に置き換えられるような元気が出るお話を沢山聞きました。今年の優先事項である「多様性」「公平性」「インクルージョン」(DEI)については、普段の生活に生かせるのではないかと、他の奉仕活動にも通ずる思いだと感じることができました。話は少し変わって、今回のホストクラブの津久井中央ロータリークラブの高橋会長は青年会議所(JC)のメンバーでした。私もJC出身なので15年前くらいのお話になります。私はJCに入ったばかりで地区出向に行った際に高橋会長にお会いしました。ちなみに高橋会長はJCでは関東地区のトップをやられていた方なのでJCメンバーでは知らない人は居ないくらいの方です。当時私は、横須賀地区の役員に付添いの立場でしたので、高橋会長は私のことは全く覚えていないと思いますが、その高橋会長に付き添っていた私と同じ立場の津久井JCメンバーだった本田さんが当日の司会をしていました。15年前に本田さんが「僕は高橋先輩のことが大好きで尊敬をしています。ずっと付いて行きたいし、応援をしていく」と言っていて、ボランティアや奉仕活動で培われた友情や仲間は一生涯続いていると感じることができました。高橋会長以外にも、私が2回地区大会に行っただけでも知り合いがいるので、私のような経験をしている人は横須賀に沢山いると思います。そういった方を当たれば会員増強に繋がるのではないのでしょうか。なかなか金曜日の例会だけでも出席するのは大変だと思いますが、大懇親会なども楽しい内容となっていますし、我々の代表として地区に出向をしてくれているメンバーを応援する意味でも、来年度はぜひ沢山のメンバーで参加ができればと思います。

#### ◇岡田(圭) 会員

先日、10月16日(日)開催された地区大会本会議についてご報告いたします。場所は相模原市民会館大ホールにて開催されました。私自身は、今大会が初めてだったのですが、まず感じたのは「ロータリアンが沢山いる！そして、凄く活気があるな」と地区大会のスケールの大きさを感じました。12時30分から佐藤祐一郎ガバナーの点鐘により本会議が始まり、物故会員への黙祷、新クラブ・各参加クラブの紹介、ガバナー挨拶、RI会長メッセージ、地区大会決議報告、記念事業披露・目録贈呈、来賓祝辞、新世代紹介、各種表彰、記念講演と議事が進みました。その中からいくつか私自身の心に残ったことを共有させて頂きます。まず、佐藤祐一郎ガバナーのご挨拶ですが、今日お越しのそれぞれのクラブには特徴があり、各種素晴らしい取り組みをされており、新たな可能性を強く感じているし、今後益々、各クラブが夢を描いてイマジネーションする、活動することがとっても大事なことだとおっしゃられておりました。また、ロータリーの魅力の一つとして、ロータリーは出会いの宝庫であり、色々な方々との出会いが自分自身に勇気や希望、そして新たな発想を与え、人間として成長させてくれているとおっしゃられておりました。四宮RI会長代理からは、ジェニファーRI会長の人柄と最優先イニシアティブである、DEI(ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン)の本質についてのお話がありました。改めて、ジェニファーRI会長の考えや芯の強さを感じました。アトラクションでは、相模原市共和小学校吹奏楽団による演奏がありました。本当に素晴らしい演奏で、今地区大会の一体感も感じられました。また、記念講演では、さかなクンによる【お魚と環境のはなし】というテーマでの講演がありました。海の環境問題(資源の減少や汚染等々の問題について)などのお話があり、今後の未来のためにもできることからぜひ行動して戴きたいとおっしゃられておりました。最後は、四宮RI会長代理より、講評があり、佐藤祐一郎ガバナーの点鐘で本会議が終了し、けやき会館に移動、大懇親会が行われました。各クラブとも多くの方が参加され、その名の通り大懇親となり、とても活気のある懇親会でした。私自身、今回が初めての地区大会でしたが、想像していた以上に、ロータリアンの活気や皆さんの気づきがありました。今後もロータリーの魅力を発見しつつ、成長させて戴ければと思っています。以上、地区大会報告となります。ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 前田 会長

週報担当 永井 信利



### 国際ロータリー第2780地区 地区大会 大懇親会

